

新着ワインのご案内

ドメーヌ ジャン マルク ブレ
Domaine Jean -Marc Bouley

自然体に徹したワイン造りを行う伝統ある生産者

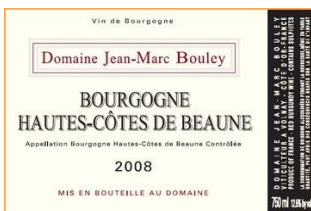
マルク・ブレのワイン造りは1527年ヴォルネイで始まり、ヴォルネイで現存する一番古い造り手。元詰としては1986年から”ドメーヌ・ジャン・マルク・ブレ”として生産されるようになりました。現在当主であるジャン・マルクがその端々に目を光らせてはいるものの、栽培やワイン造りの実質は2002年から加わった息子のトーマスが担い、より品質の向上はめざましく、注目の造り手です。ヴォルネイを中心にポマール、ボーヌ、ムルソー、それにレジオナルという構成で12ha所有しています。化学肥料や除草剤を使用せず、自然のバランスを生かした耕作がなされています。新樽使用比率は30%~50%。優美で旨味のあるワインで、バランスの良さ、テロワールに基づくアペラシオン本来の魅力が十分に感じ取れます。

小売価格 (税別)

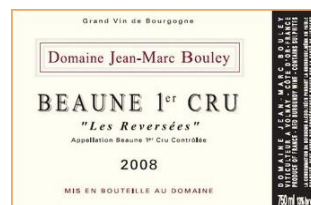


息子であり醸造長のトマ

JMHCO8	BOURGOGNE	Hautes Cotes de Beaune	2008	¥3,500
JMBRO8	BEAUNE	1er Cru «Reverseés»	2008	¥6,000
JMVVO8	VOLNAY	«Vieilles Vignes»	2008	¥6,000
JMVC08	VOLNAY	1er Cru «Clos des Chêne»	2008	¥8,500
JMPPO8	POMMARD	«Les Petits Noizons»	2008	¥6,500
JMPRO8	POMMARD	1er Cru «Les Rugiens»	2008	¥10,000



ヴォルネイの村名は先住民ゴル人が崇めていた水の神『ヴォラン』に由来しています。13世紀から17世紀には白ワインも造られていて、またルイ14世は薬効があるとして、ヴォルネイのワインをよく飲んだと言われています。当時はコート・ド・ニュイのワインは今のような評価を得ておらず、コート・ド・ボーヌのワインが最高とされ、その頂点に立っているワインです。土壌は泥灰土、粘土石灰岩質、石灰岩など変化に富み『女性的な』と表現されるバランスのとれた繊細でしなやかなワインです。



ポマール村のワインは、中世の時代から評価が高く、『ボーヌ地方のワインの花』と称えられ、美食家で知られるルイ15世や文豪ヴィクトルユーゴーが愛したワインとして知られています。ワインはニュイのものとははっきり違った、格式張らない親しみやすい味わいを持つ赤。口当たりが柔らかく色調に気品があります。コート・ド・ボーヌの中でも最も心を躍らせるもので、ブルゴーニュの1つの優れたタイプのワイン。ボーヌの中では長命。特級畑は無い。

